

「人を喜ばせる」

残暑の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

残念ながら高校野球では、愛知代表の東邦高校は負けてしまいました。1年生ピッチャーと30数年前の再来か期待しましたが大変残念でした。

さて、今回は「人を喜ばせる」というお題で話します。

未来11年6月号に私は、「従業員喜ばせ係代表」と書き



代表取締役社長 吉田治伸

ました。社員のなかには、「会社に喜ばせてもらってない…」なんて人もたくさんいるかもしれませんが、実は、こんなことを宣言してから、業績は好調なんです。

以前、スタッフの研修で「社員を喜ばすには？」というテーマで話しました。業績の悪かった時は、「なんで社員を喜ばせないけないの？」とか「給料上げないと社員は喜ばない」なんて話ばかりで議論はすすみませんでした。今は、違います。

それぞれに持っています(しかもタダでできる方法で)。人を喜ばせるということは、元気である、人の顔を見て笑顔で話す、親切、早くやってあげる等々…接した相手を喜ばせたい、驚いてもらいたいなんて事を実行しているだけで良いんです。そうすると知らず知らずのうちに大きな変化になっていきます。一生懸命やっているのに「普通」の評価しかもらえない、現場の人がしょつちゅう辞めていくなつて時は少し人を喜ばせようという気持ちが少ないのかもしれませんが。

グループ3,000名の社員がいつも誰かを喜ばせていたらそれは、すごく感動的な事ですね。

9月になつてもまだまだ暑いようです。ご自愛下さい。